

大原社会問題研究所五十年史

III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

社会統計学院の創設と各種の講習会

一九三四年 昭和九年 一九三四年一月九日の委員会で、研究所事務所の増築が決議された。これは講演会、講習会等に使用する講堂や研究調査室を設けるためである。

同年四月、増築工事がおわり講堂が新設されると同時に、研究所に社会統計学院が附設され、これより後、学院主催の種々の講習会が催されることになった。これは教育部面に所の事業が一層拡大されたことを意味するが、同時にこれらの事業によって所の収入増をはかり、経済自立の一助とする意味もふくまれていたのである。

社会統計学院の役員、顧問は、――

委員長	高野岩三郎
監事	森戸辰男
顧問	内閣統計局長 長谷川赳夫
	大阪商大学長 河田嗣郎
	大阪市長 関一
	大朝副社長 下村宏
	柳沢統計研究所総裁 柳沢保恵

社会統計学院主催の講習会は、五月より種々なテーマの下に開催された。社会統計講習会、経済統計講習会、社会事業講習会、簿記講習会、協同組合講習会等がそれである。一期の聴講料は二円五〇銭から五円までで、参加者は二〇名から六、七〇名におよんだ。また講師は、研究員のみならず、所外からもまねき、阪大の小倉金之助(統計学)、商大の木村和三郎(簿記)、豊崎稔(景気変動論)、同志社大の竹中勝男(社会事業)等の諸氏が講義した。

つぎに各種講習会の科目と講師名をかかげる。

経済統計講習会(秋期講習会)
一〇月八日より十一月二一日まで

経済統計概説	高野岩三郎
指数論	関西学院大教授 田村市郎
労働統計	森戸辰男
	後藤貞治
国富・国民所得・財政統計	大内兵衛
金融及金融統計	笠信太郎
景気観測論	大阪商大助教授 豊崎稔
最近の統計に現われたる世界経済	久留間鮫造

簿記講習会(第一回)
一〇月一六日より十一月一五日まで

講師 大阪商大助教授 木村和三郎
科目 簿記原理 勘定科目論 帳簿組織決算論
出席人員 約四〇名

[前のページ](#)← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所](http://oisr.org)(<http://oisr.org>)
